

の事は出来るだけ自分でする。尙大人の手傳をする。人手のほしい今日簡単に幼児に出来る用事は幼児がするといふ事である。

一ヶ月のうちある日を定めて幼稚園の草取りする。或は園藝の手傳として畑の石拾ひ、土運び、或は部屋引出の整理、整頓など幼児相當に出来る仕事もある。幼児には一齊制とか交代制とかいふ形でさせる事が割合によく出来る様である。個人々々とするにはおぼつかない所がある様である。

以上保育の一日について躑の實際について一通り考へて見たのであるが、この外まだ躑の機會も多くあらうし、又その方

遊戯について

福田 静子

幼稚園に於いて幼児の體育運動としては、體力遊び、自由遊戯、音楽を伴ふ遊戯（唱歌遊戯、律動遊戯）があるが、私はここに音楽を伴ふ遊戯についてその取扱ひ方を考へてみたいと思ふ。

遊戯の指導方針

法もいろ／＼ある事である。

要するに相手は素直な幼児たちである、こちらの仕向け方によつてよき習慣をつけられる事も多いと同時に又、その保姆の努力に對してのひびきもあはいものでもある。いづれにしても幼児の躑はたへざる保姆の努力によつて培はれるものである。

その方法は實際家の創意と工夫によりて實際に築きあげられるのであるが幼児と相談の上、この月はこの點に特に皆で氣をつけませうといふ様に、ある期間中一つの躑の事項について反省する方法なども具體的の一方方法であるかとも思はれる。

幼稚園の遊戯は、幼児の生活活動な某とした自然的運動によつて、身體活動の喜びを喚起し、身體各器官の強健を圖り、以て健康の基礎となし、快活な心情、公明な態度を養ひ、自我を捨て、規律、勇氣、忍耐、協同、團體精神を涵養することである。

遊戯の選び方

この時代の體育は幼児の生活活動を出発點としてめなければならぬ。幼児の生活運動は精神と身體とが未分化の状態に於いて活動する故に、原始的自然的な運動となる。従つて遊戯の材料は幼児の生活に適合し生活事象の遊戯化されたものでなければならぬ。そして、どびたくてたまらぬ、走りたくて仕方がない、常に動きたい幼児の活動性を壓へつけない爲に、活動的な動作を含むものでなければならぬ。幼児の身心にびつたり合つた原始的な直線的な表現であるか否かを顧慮して、それに適合した運動をもつた遊戯を選ばなければならぬ。

こゝで、音楽を伴ふ遊戯の中には、唱歌に動作のついたものも多いから、先づ歌の選擇にも意を用ひなければならぬが、幼稚園の歌は、拍子は、 $\frac{2}{4}$ 拍子、 $\frac{3}{4}$ 拍子、 $\frac{4}{4}$ 拍子で、簡單なりズムをもち、八小節乃至十二小節、長くて十六小節よりなるもの、しかも子供らしい簡單快活な歌詞が長くて三節まであるものを選びたい。

遊戯指導上の諸注意

○各遊戯特有の運動目的を達成すること

各遊戯はそれ／＼何かの運動目的をもつてゐるものである。例へば「オフホ」の遊戯で上體を前に曲げたり後におこしたりする動作があれば、それは胸や脊の運動となる。

兩手を上に擧げるにしても胸を張つて兩手をぐんと伸ばすのどそでないのとは、胸の發達に大きな相違がある。足踏みにしても、意識してリズムに合はせ、適當の高さに擧げるのと、たゞむやみに足を動かすのとは、運動量にかなり影響するものであるから、その遊戯に於いて各動作が身體に及ぼす影響を考へ、身體のどの部分の發達に力あるものであるかを考へて、擧げる時はきちんと擧げ、跳ぶものは高くそれ／＼の運動目的を達するまで、反復練習しなければならぬ。

○表現に於いて形よりも活動性を重んじてこと

これは選ばれた遊戯にどんな動作かついてゐるかといふことに關係する問題であるが、幼稚園の遊戯は幼兒が自分の樂しみとしてする事で、人がみてゐる見てゐないは問題ではない（その點、舞臺上の舞踊は人

に見せるもので、それをする常人にはかへ

つて苦痛を伴ふことがあるかも知れない。幼兒は樂しみの中にその順序を覺えて、作者の工夫された目的が知らず／＼の間に、其の心情にふれ、身體の動きが自分のものとして氣持よく表現してゐる間に、充分な運動量のものとなり、運動慾を満足させる事が出来るのである。そしてそれが心身の發達を促す基となつてくる。従つて私共は

幼兒に、細織な線の柔かさ美しさを要求したり、大人の表現を直ちに幼兒に強いる事は出来ない。幼兒には、子供らしい表情がある。或程度の暗示、示範の後は、子供の身心にびつたり合つた表現を求めなければならぬ。

○各遊戯の配合を考へること

イ、一つの遊戯はこの様に何か運動目的をもつてゐるから、時間中に行ふ種々の遊戯曲目についてそれ／＼の運動動作の強度に留意し、各曲目の特徴が互に相倚つて過勞にならず容易に身心鍊成の實を擧げ得る様幾つかの遊戯曲目を適當に配合する事が肝要である。非常に活潑なものゝあとには沈靜劑として靜的な動作のものを加へるこ

とにする。「カッチン／＼時計屋の時計、てんでにお手々を振つてゐる」といふ時計の遊戯は、坐つて兩手を胸に交又してとり、リズムに合せて頭を左右に振り、次には胸にくんだ手を開いたり閉じたりし、三回目は上體を左右に振る動作であるが、跳躍的のものでなく比較的靜かに出来る遊戯である。

ロ、遊戯は又、土地の情況、時期天候に留意しそれ／＼に適合したものをとり入れて配合すること。例へば、七月にもなれば、夏むきのものに「水あそび」「海」「ホテル」「メダガ」等が擧げられるし、當今の時局向きものとして「國旗ふれ／＼」「水兵さん」「飛行機」等がある。寒い冬の日には暖かくなる事が第一であるから跳躍的な汗の出る様な動作のものを多くしなければならぬ。お天氣のよい日に「雨が／＼降つてゐる」と云ふ様な遊戯もおかしいと思ふ。

ハ、幼兒の身心發達を考慮し、年少組より年長組になるにしたがつて簡単な運動のものより複雑な運動のものへと漸次その程度を高めたものを多く行ふことにする。

○常に態、姿勢の指導に留意すること

遊戲の時間の始めと終りには「氣ヲ付ケ」の正しい姿勢をとり、敬禮をする。正しい姿勢は氣分をひきしめ、次におこす運動へよい影響を及ぼすものである。時間中御淨へかけ出さない様、遊戲の前に注意しておく事。又一人づゝ歩行の練習をしたり、一拍跳びをしたりする際に自信のない幼児はする事を厭がり、之を見て笑ふ幼児もあるが、満足に出来なくても、先生の命令通りに動く快活な態度や勇氣をつくりたいものである。或は又「いもむし」の遊戲をする。これは五、六人が縦一列になつてしゃがみ、前の者の肩につかまつて歩く運動であるが、一人でもしやがんだまゝ動かなくなつたり、肩の手を離したりすると出来ない遊戲であるから、團體精神とか、團結の心構へをつくるのによい遊戲である。「汽車」の遊戲で何人かつながつて車を廻しながら一拍跳で前進する動作がある場合、これも又不面眞目な者があると全體がくずれてしまふから「いもむし」と同様、全體の爲に規律を守り協同する氣持を涵養し、團體訓練へ導入しなければならぬ。

○一着指導の際にも各幼児の個性、能力に

充分注意し、それに應じた取扱ひを忘れてはならない。例へば幼児體操を全體で行ふ場合、全體が揃ふ爲に、出来ない幼児には一通り出来るまで、手足の伸びないところ曲らないところを指摘して補助し、運動神經が發達してゐる幼児には、更に高度の能力を發揮し得る様、勵みを與へたい。

○其の他の注意

イ、遊戲は室内で行はれることが多いが、出来れば戸外で行ひたい。

ロ、新しい遊戲曲目は大體一週一曲の割合でとり入れ、この他は、既習のものを反復する。

ハ、遊戲の時間は三十分乃至四十分位が適當ではないかと思はれる。

私共保母は大體以上の様な注意により、遊戲曲目の研究、指導の工夫につとめ——その遊戲を最も容易に幼児に消化させるに

談話の指導

談話は唱歌、遊戲、手技の如く他に示す

は、どの部分の指導に重きをおくか、といふ事や、同一遊戲でも取扱ひ方により、様々に變化する事が出来る。例へば「オフネ」の遊戲は一曲の中に、舟を漕ぐ動作、波が揺れる動作、船べりをたゞき拍手をする動作によつて構成されてゐるが、始終、この動作をするばかりでなく、この「オフネ」の曲に合せて、始めから終りまで、坐つて舟漕ぎの動作をしたり、立つて舟を漕いだり、或は二つに分れて一方を波にして、両手を前においてゆらく揺れる動作をし、その間一方は舟漕ぎをしたり、圓形に坐つて上手に漕げる舟を圓内に出す等、同一遊戲でも定まつた振付けの通りに動作しなくても種々變化して面白く取扱ふことが出来る。

——面白く興味あるやう、常に熱誠と潑刺とした意氣を以て、幼児と共に唱ひ、共に運動したいと思ふのである。

安村 ぶ さ

等といふ現實の成果はないが、幼児の心の